

御挨拶

日頃から、国際交流推進室の活動にご理解と、ご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。国際交流推進室ニュース第7号をお届けします。大学・学部を取り巻く環境は一層厳しくなっていますが、2013年度を無事、スタートさせることができました。

文部科学省は大学の国際化、グローバル人材の育成に力を入れようとしています。大学入試にTOEFL等を利用する方策などが、現在、検討されています。留学生受入れ30万人計画と合わせて、最近停滞が目立つ日本人学生の留学経験者数を増加させるべく経済支援を行おうとしています。

繊維学部では、TOEIC試験をベースとした独自の英語教育プログラムを展開しています。今後、日本人学生の国際化、留学希望者に対する支援に力を入れていくつもりです。繊維学部では、これまで多くの留学生を迎え入れ、学士、修士、博士として送り出してきました。しかし、残念ながら、卒業、修了後は連絡が途絶えがちとなっています。繊維学部キャンパスで学んだ中国人留学生達との同窓会組織ができており、昨年上田で同窓会が開かれました。本年度は、広く海外の同窓生にも情報の発信を行って参ります。母校である繊維学部の活動状況を知ってもらい、海外で活躍する同窓生達との協力関係をより強固に築いて参りたいと思います。今後とも、ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

平成25年6月

信州大学繊維学部国際交流推進室

留学生会長の御挨拶

緑が綺麗な季節になり、長野の美しい夏がやってきました。新入生の方も日本の暮らしに慣れ始め、自然豊かな上田を堪能しています。留学生の生活において、なによりも忘れてならないこととして、信州大学繊維学部留学生を支援する会からの温かい生活支援です。私たち留学生のために、日常生活用品の補助や、住宅総合保険の補助をいただいています。また留学生歓迎交流会では、歓迎パーティーを開催していただき、私たち留学生に良い交流の場を与えてくれました。数多くの支援をしていただき、心から感謝しております。今後とも、お世話になります。今年の留学生の人数が例年と比べ少なく、活性を失いつつあります。そういった中で、日本人学生といかにうまく交流していくかが重要だと考えます。現在、スポーツサークルにおいて、バスケットボールでは日本人学生と一緒に楽しく活動しています。また今後は、料理会などを聞き、日本人学生とさらなる交流ができればと考えています。

まだまだ不十分なところが多々ありますが、みなさんと協力して頑張っていきます。

平成25年6月 繊維学部留学生会会長
 学部4年 熊 向東(ジュン シヤウトウ)



日中韓大学院生シンポジウム参加者

日中韓大学院生シンポジウムを開催

2013年3月、日本学生支援機構(JASSO)のショートビジット事業の採択を受けて、日中韓大学院生シンポジウムを中国蘇州大学にて開催しました。上田キャンパスからは15名(修士課程12名、博士課程3名)の大学院生が参加し、繊維関連分野の講義および研究課題の発表と討論を通じて3カ国間の学生同士の交流を活発に行いました。また、目覚ましい発展を続ける蘇州工業園や、蘇州の伝統工業であった絹織物の博物館、清や明の時代から蘇州に残る古典庭園の見学を行い、中国文化への理解を深めました。

繊維学部留学生の動向

本年の3月24日に学位授与式が開催され、5名の博士課程学生と8名の修士課程学生、2名の学部学生を送り出しました。また、4月には、2名の博士課程学生と5名の修士課程学生、3名の学部生が入学しました。これで、5月現在の繊維学部キャンパス留学生の総数は43名となりました。

繊維学部への留学状況(課程と出身国)

博士課程	19	中国	30
修士課程	12	韓国	5
学部	10	マレーシア	3
研究生	2	フランス	2
計	43	インド	1
		モンゴル	1
		パキスタン	1
		計	43

第1回海外留学説明会を開催

2013年4月、国際交流センター主催による留学説明会が行われ約50名の学生が参加しました。赤羽国際交流センター長より交換留学、長期派遣留学、私費留学などの様々な留学スタイル、必要な語学力と対策、大学の留学関連プログラムやイベントの予定、奨学金、就職活動との関連等について、下坂繊維学部国際交流推進室長よりフランスENSAITとのダブルディグリープログラム、海外学生派遣数等について説明がありました。また、昨年度、韓国建国大学校に短期交換留学した繊維学部大学院生の体験談が披露されました。



海外留学説明会のようす

繊維学部留学生ガイダンスを開催

2013年5月、今年度、上田キャンパスに入学、進学した留学生向けのガイダンスを実施しました。東京入国管理局長野出張所、上田市多文化共生推進協会、上田警察署から来賓をお招きし、留学生向けに役立つ情報を披露いただきました。また、学部内の各担当者から「日本語自習コース」「ネットワークのエチケット」「健康管理と学生相談室」についての案内がありました。引き続き、マルベリーホールにて歓迎交流会を行いました。



留学生歓迎交流会のようす

新しい交流協定の締結

2013年4月、韓国の成均館大学校工科大学との間で学部間交流協定を締結いたしました。成均館大学校は1398年に設立された朝鮮王朝の最高教育機関成均館を母体としており、東アジアで最古の大学とされています。

大学間連携共同教育推進事業のスタート

今年度より、京都工芸繊維大学、福井大学との三大学間で、大学院修士課程の連携コースである「繊維・ファイバー工学コース」(各大学5名の定員)がスタートしました。本コースはグローバルな視野をもつ技術者の養成を目指しており、毎年海外の大学からファイバー工学分野の著名な先生方を招聘し、英語による講義を行っていただく予定です。

国際交流推進室 室員紹介

下坂 誠(室長、生物機能科学課程)
平林公男(副室長、生物資源・環境科学課程)
金 翼水(副室長、機能機械学課程)
鮑 カ民(機能機械学課程)
ハニウッド マイケル(感性工学課程)
平田雄一(応用化学課程)
金井博幸(先進繊維工学課程)
福長 博(材料化学工学課程)

編集後記

国際交流ニュースも創刊以来7号目となりました。これまでのバックナンバーについては、下記の繊維学部国際交流室のWebページよりダウンロードいただけるように設定しました。一度、ご覧いただけますと幸いです。

(2013年水無月)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆ 国際交流推進室ホームページ ◆
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>